

経営力向上支援事業の進捗状況について

1 要旨・目的

経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、担い手の経営発展意欲の醸成を図り、企業経営への転換に向けた支援に取り組んでいるこの事業について、進捗状況を報告する。

2 現状・背景

現在、企業経営体の育成に向け、家族経営から常時従事者を受け入れた経営への転換を経て、農場長などの中間管理職を配置する経営、更には、生産・営業・販売等の体制を整えた組織へと成長させるというプロセスの実現を支援している。

成長過程での経営体の課題は様々であり、担い手が着実にステップアップするためには、各発展段階に応じた支援体制の充実が重要である。

3 概要

(1) ひろしま農業経営者学校

担い手の経営の発展段階に応じて、経営スキルの習得、経営ビジョン等の作成などを目的とした講座を6コース実施している。

ア 対象者、事業内容、スケジュール等

コース	対象者・事業内容	定員	スケジュール	開催場所
経営発展 チャレンジコース	対象:開催地域の若手農業者 内容:経営者としての心構えや経営理念の重要性を理解し、自身のライフプランを作成する。	60名 (各10名)	10/26～ (2日間)	①北広島町 ②安芸高田市 ③庄原市(高野町) ④庄原市(東城町) ⑤福山市 ⑥神石高原町
経営発展 実践コース	対象:経営発展チャレンジコース受講者 内容:財務、雇用など経営発展に必要な経営スキルを習得し、経営者としての経営計画を作成する。	30名 (各10名)	11/30～ (6日間)	①北広島町 ②庄原市 ③福山市
課題解決コース	対象:前年度の経営発展実践コース修了生 内容:経営計画の実行に必要な課題解決能力を習得する。	10名 (実績6名)	7/7～ (6日間)	オンライン
先進経営視察 コース	対象:企業経営への発展を志向する農業者 内容:先進経営体での視察研修を通し、経営指針書を作成する。	夏期:3名 (実績3名) 冬期:4名	夏期:7/14～ 冬期:12/8～ (7日間)	広島市及び現地
企業経営コース	対象:企業経営の実現を目指す農業者 内容:企業から企業経営のマネジメントを学ぶ。	15名	12/上 or 1/下 (2日間)	広島市
経営開始コース	対象:新規就農者、就農予定者 内容:経営初期に必要な基礎スキルを習得する。	20名	11/8～ (6日間)	広島市

イ 予算(単県)

30,241千円

(2) 企業経営実践支援（チーム型支援）

企業経営の実現を目指す経営体に対し、人材育成や予算・実績管理などの重点課題に絞り、その仕組みづくりや効率的な運用に向け、経営コンサルタントの派遣支援を実施している。

ア 対象者、事業内容、スケジュール等

(ア) 令和3年度新規分

対象者	市町	栽培品目	事業内容	スケジュール
A	北広島町	水稻, 施設野菜等	・各経営体において、コンサルが、代表者や役員、従業員それぞれに対し、会社の良い点・悪い点、自身の役割等に関するヒアリングを実施 ・ヒアリング結果をもとに、人材育成や予算・実績管理に係る今後の取組を提案	5/28～ (12回/経営体)
B	呉市	施設野菜		
C	世羅町	落葉果樹		
D	世羅町	落葉果樹		
E	庄原市	施設野菜		
F	庄原市	酪農等		

(イ) 令和2年度からの継続分

対象者	市町	栽培品目	事業内容	スケジュール
G	安芸高田市	施設野菜, 水稻等	・前年度導入した人事管理制度等の運用状況を確認するとともに、制度の導入効果を高めるための助言を行っている。	5/12～ (4回/経営体)
H	安芸高田市	施設野菜, 水稻等		
I	江田島市	施設野菜		
J	神石高原町	水稻, 繁殖牛等		
K	庄原市	露地野菜等		
L	世羅町	酪農等		

イ 予算（単県）

13,583千円

(3) アグリ・フードマネジメント講座（農業MBAスクール）

県立広島大学と連携し、イノベーションを生み出すための経営戦略等を考える講座を開催する。

ア 対象者

経営発展を目指す農業者、アグリ・フードビジネスに関心のある方等

定員：20名

イ 事業内容

ゲスト講師からコロナ禍等における新時代のマーケティング戦略を学んだ上で、クラウドファンディングにより新しい商品やサービスのプロデュースを支援している(株)マクアケの協力のもと、農産物等を使った新商品開発を実践する。

受講料：10万円/人

ウ スケジュール

10月30日（土）～3月6日（日）のうち12日間（53時間：1日3～6時間）

エ 予算（単県）

3,578千円

アグリ・フード
マネジメント講座
2021



ひろしま ファーマーズ テーブル

農と食の未来を描いてみませんか？

あなたのアイデアで、



ひろしまファーマーズテーブルは 未来を創るビジネスデザインを描き、 新しい経営に挑戦します。



「アグリ・フードマネジメント講座～ひろしまファーマーズテーブル～」は、MBA教育を実践する県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)が本プログラムのために独自に開発したカリキュラムで、広島県農林水産局と連携して実施する講座です。

いま必要な農業経営能力とは？卓越な経営マネジメントを実践している経営者・起業家の活動を支えるエコシステムとは何か？生産者と消費者をつなぐマーケティングプラン、危機を乗り越えるための先端技術、持続可能な経営のためのイノベーションなど、今の時代をいち早く切り拓く起業家や専門家をゲストにむかえ学びます。

国の内外で活躍する人材との交流をとおして、受講生は自らの経営感度を高め、未来を創るビジネスデザインを描き、新しい経営に挑戦していきます。本プログラムがめざすのは危機を乗り越え、イノベーションを起こそうとするもの同士の共創とそのネットワーク構築です。

今年度は、社会をよりよくするアイデアの連鎖を生み出し、売れていく商品・サービスを世に送り出すことで、信頼と共感により持続可能な経営を実現することを目的に、(株)マクアケのキュレーターからの実際の指導、Makuake成功者からの直接の体験談をとおして、最終的に自分たちがMakuakeに挑戦し、広く社会に呼び掛け、賛同を得られる事業構想の創成を目指します。



世の中をもっとよくするチャレンジが毎日続々と登場するアトラシイものや体験の応援購入サービスです。Makuakeでは、これから生まれ、世の中に広がっていく商品やサービスを扱っています。



受講生の学び
(ワークショップ)



アイデア



ワクワクする
プロジェクトを創る

過去の受講生の声



成果発表で描いたビジネスモデルを現在実践しています。これからの農業は他分野とかわりがある成長ビジネスなのだと思感しています。

「楽しい」と思えた講習は今回が初めてでした。農業に関する内容ではありましたが、「経営全般」につながる内容も多く、すぐに取り掛かれるヒントがたくさんありました。

コーディネーター講師



もりかわ しんさく
毛利 信作

三菱商事株式会社農産部入社後、米国SESMARK FOODS, INC. 社長、同社穀物部穀物製品ユニット統括マネージャー、米国TH FOODS, INC. 社長、同社関西支社食料部長、三菱食品採取部役員兼執行役員関西支社長。タイ、ベトナムにて複数の食品会社を立ち上げる。その他グローバルビジネス分野での業績多数。

県立広島大学大学院 経営管理研究科 (HBMS) 教授



よしかわ なるみ
吉川 成美

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学修士、東京農業大学大学院農業経済学博士。永田農楽研究所にてアジア地域における環境保全型農業と農家支援プロジェクトに参加。2019年から「アグリ・フードマネジメント講座ひろしまファーマーズテーブル」を担当。生産者も消費者も双方が参加できる農業の未来を描いている。

県立広島大学大学院 経営管理研究科 (HBMS) 教授

「こんなに美味しいのに～」は作り手の論理。「価値は顧客が決める」今の時代に、どう対応するのか、実践力を高めましょう。

あなたの人生を豊かにするマネジメント講座です。多くの共感を得る収益性の高い「農」と「食」のビジネスを！

講座内容

第1ターム 新時代へ適応する商品づくりへー未来を創るマーケティングプラン

1. 10月30日(土) 10:00～16:10 [5時間] オリエンテーション・Makuakeへのチャレンジ
2. 11月6日(土) 13:00～16:10 [3時間] マーケティングで勝つ!
3. 11月11日(木) 18:30～21:30 [3時間] ビンチをチャンスに変える事業戦略
4. 11月20日(土) 10:00～16:10 [5時間] With コロナ時代の食品マーケティングー農産品、農産加工品を中心としてー
5. 12月5日(日) 13:00～16:10 [3時間] ニューノーマル時代の商品開発 **実演**

第2ターム 最先端の現場から学ぶイノベーション

6. 12月19日(日) 10:00～16:10 [5時間] 事業戦略ーキュレーターによるMakuakeプロジェクトの実践ノウハウー
7. 1月9日(日) 13:00～16:10 [3時間] サービスコミュニケーションの変化を起こすーセルフ・イノベーション(自己革新)のためのデザインシンキングと共創型マーケティング
8. 1月23日(日) 13:00～16:10 [3時間] 新しい時代のモノの売り方
9. 1月30日(日) 10:00～16:10 [5時間] 未来の事業創造と多様な連携によるプロジェクトの創出 **現地視察**

第3ターム Makuake 新しいモノ・サービスをデビューさせる

10. 2月12日(土) 10:00～17:10 [6時間] Makuake掲載に向けた準備1ーキュレーターによるプロジェクト案のブラッシュアップー
11. 2月26日(土) 10:00～17:10 [6時間] Makuake掲載に向けた準備2ー最終プレゼンに向けたプロジェクト案のブラッシュアップー
12. 3月6日(日) 10:00～17:10 [6時間] プロジェクトの最終発表・まとめ

		
<p>オリエンテーション・ Makuakeへのチャレンジ</p> <p>株式会社マクアケ 共同創業者/取締役 坊垣 佳奈 氏</p>	<p>マーケティングで勝つ!</p> <p>株式会社アツヒコ 代表取締役社長 矢野 健一 氏</p>	<p>ピンチをチャンスに変える 事業戦略</p> <p>株式会社ポテンツァ 代表取締役社長 藤原 正樹 氏</p>
		
<p>Withコロナ時代の食品マーケティング ー農産品、農産加工品を中心としてー</p> <p>三菱食品株式会社 マーケティング部 戦略研究所 主幹 北濱 利弘 氏</p>	<p>ニューノーマル時代の商品開発</p> <p>三菱食品株式会社 デリカ本部 R&D グループ マネージャー 保谷 崇範 氏</p>	<p>事業戦略ーキュレーターによる Makuakeプロジェクトの実践ノウハウー</p> <p>株式会社マクアケ 副社長 松岡 宏治 氏</p>
		
<p>サービスコミュニケーションの変化を起こす ーセルフ・イノベーション(自己革新)のための デザインシンキングと共創型マーケティング</p> <p>関西国際大学国際コミュニケーション学部助教授 教授 吉田 誠 氏</p>	<p>新しい時代のモノの売り方</p> <p>株式会社坂ノ途中 代表取締役 小野 邦彦 氏</p>	<p>未来の事業創造と多様な連携による プロジェクトの創出</p> <p>瀬戸内産業大学 代表取締役社長 太田 祐也 氏</p>

開講期間	2021年10月30日(土)～2022年3月6日(日)の12日間	
対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営発展を目指す農業者 ・ 農業参入を検討されている企業 ・ アグリ・フードビジネスに関心のある方 ・ 新規就農やフードビジネス関連の起業を目指す方 ・ アイデアを売れるカタチにしたい方 	
募集人数	20人	
会 場	県立広島大学広島キャンパス(広島市南区宇品東1-1-71)等 ※現場見学等内容によって他の会場を使用することもあります。	
オンラインの場合	新型コロナウイルス感染の状況から、オンライン(Zoom)による実施となる場合があります。オンラインでの実施の場合、①～③のすべてが別途必要となります。 ①自宅等での学修環境 ②インターネット環境 ③PC/タブレット等端末	
受講料	100,000円(税込)	
申込方法	下記①または②いずれかの方法でお申込みください。 ①県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)のウェブサイトから申込フォームに入力してください。 URL https://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/events/archives/6739 ②「申込書(志望書付)」をウェブサイトからダウンロードし、メールまたはFAXで送付してください。 県立広島大学本部事務局 HBMSマネジメント課 〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71 Email mba-office@pu-hiroshima.ac.jp FAX 082-251-9405	
申込締切	2021年10月21日(木)	
受講決定	提出いただいた志望書等に基づき書類審査を行います。通過者の方には、受講の案内及び受講料の振込方法等を連絡させていただきます。	
個人情報の取り扱い	申込及び受講にあたりご提供いただいた個人情報は、本講座の運営及び県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)の事業に関すること以外の目的には使用しません。	

問合せ先

県立広島大学本部事務局 HBMSマネジメント課
 〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71
 TEL 082-251-9726 Email mba-office@pu-hiroshima.ac.jp

